

巻 頭 言

紀要第7号発刊によせて

『埼玉医科大学看護学科紀要』は平成20（2008）年3月に創刊されました。平成18年の開学年度は創刊のための委員会を発足させ、紀要規定や投稿規定を作成し、ISSNを取得し、投稿から発刊までの体制を整える準備をしました。翌年度はいよいよ原稿を募集し、当時の紀要委員の奮闘の結果、年度末に第1号を発刊いたしました。表紙の色を何色にするか、紙の厚さはどうするかなど、何度も会議で話し合っていた記憶があります。振り返れば、自分たちの研究が身近なところから発信できる、そんな喜びがあったような気がいたします。当時学科長であった岡部恵子氏は、看護を教授するうえでは、看護学を追究し「看護とは」について考え続けることが大切であり、そのためには看護研究は、教員として欠くことのできない活動であると述べています。

さて、近年は看護系の学会も増え、一人の研究者が複数の学会に所属するのは当然のこととなっています。商業的な専門誌も多種類発行され、学会誌を含め、論文の投稿先の選択肢も増えています。しかし、看護系大学では、年間を通した実習があり、学内の演習も多く、研究活動はどうしても教育活動に比べ時間をかけられないのが現状であろうと感じます。なんとか学会発表はしたもの、なかなか学会誌に投稿するまでには至らないのが実情ではないでしょうか。そのような中、やはり身近なところに論文として発行できる手段があるということは、教員の研究活動の支えとなるのではないかと思います。

『埼玉医科大学看護学科紀要』は第7号の発刊を迎えます。今回は、原著論文がありませんが、どの論文も教育活動に奔走する中での苦労と努力の結果であろうと推察いたします。本学教員の研究活動の成果を形にできる場として、また、研究について教員同士が語りあうきっかけとして、この紀要が少しでも役にたてれば良いと思います。最後になりましたが、発刊に際してご尽力いただいた紀要委員の皆様と査読をしていただいた皆様に、心より御礼申し上げます。

平成26年3月

埼玉医科大学保健医療学部看護学科

学科長 千田 みゆき